

本年34年目を迎える乙訓青年会議所は、創立以来「明るい豊かな社会の実現」を理念に活動を行っています。先輩諸兄が築いて来られた乙訓青年会議所の活動は地域の皆様にも評価を頂き、我々に引き継がれました。現在に於いて、社会情勢は混迷し、大変厳しい状況下におかれています。こういった逆境にこそ我々は、JAYCEEとしての社会的責任を果たし、この乙訓地域に対し行動し続ける必要があります。

我々は青年会議所活動の中で、地域を引っ張る団体になりさえすればいいのでしょうか。または青年経済人として、自社が潤えば社会責任を果たしていると言えるのでしょうか。確かにその側面もあるかも知れませんが、社会を構成するのは青年会議所、会社の経営者だけではありません。そこには他の多くの団体や、企業を支える社員、地域の方々など様々な方がおられます。その方々を思い、助け合い、感謝して社会的責任を果たさなければなりません。

我々JAYCEEが社会的責任を果たす為には、行動力を内面からサポートする人間力の向上が必要となります。厳しい社会情勢の現在に於いて、鋭い洞察力で本質を見抜き、自己の表現力を磨き、自分の意思、判断で行動する必要があります。これらの人間力を向上させる為に必要な要素は、人を思いやり、助け合い、感謝する事を念頭におけば必ず身に付きます。一人ひとりが自分を見失う事なく人間力を向上させ、その力を結集させれば大きな力となり乙訓を動かす事が出来ます。乙訓青年会議所がその旗振り役となり、この地域社会に影響を与え続ける存在になる事が求められているのです。

本年度人間力向上委員会では3回の例会を開催し、それぞれの例会で3つの人間力の構成要素について深く考えて頂きます。3月3LOM合同例会では「本質を見抜く洞察力」に関して、9月例会では「自己の表現力」に関して、11月例会では「主体性のある行動力」に関しての例会を利他の精神に基づいた考えで開催します。人の為に何が出来るのかを根本に考え、企業に関してはその社員と家族、地域活動ではそれに関わる全て人の為に人間力の向上を目指します。また、まちづくり委員会、青少年育成委員会、ビジョン会議との連携も図ります。会員拡大活動に於いても、委員会メンバー全員が積極的に協力し1年間活動していきます。

最後に人間力向上委員会では、人の為に行動できる人間力の高い人なる為、利他の精神の実践が自分の利益なるという考えではなく、利他の精神を実践する事がそのまま自分の幸せであるという考えで行動します。人間力が向上する事で、家族はもとより、職場の仲間、地域の方々に信頼され、延いては力強い経営者になれるように取り組んでいきます。そして、「直心熱動」のスローガンのもと、主体的に行動し、メンバーはもちろんの事、オープン例会に足を運んで頂く地域の皆様にも学びの多い1年になるよう委員会メンバーが一丸となり邁進していきます。